

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2006-154835(P2006-154835A)

【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2006-023

【出願番号】特願2005-347107(P2005-347107)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 1 1 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/20 6 2 3 B

G 0 9 G 3/20 6 3 3 G

G 0 9 G 3/20 6 3 3 P

G 0 9 G 3/20 6 3 3 D

G 0 9 G 3/20 6 2 3 G

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 1 2 J

G 0 2 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タイミングコントローラと第 1 ラインドライバとを連結する第 1 群のデータバスと、
前記第 1 ラインドライバと第 2 ラインドライバとを連結する少なくとも一つのデータバスを含む第 2 群のデータバスと、を備え、

前記第 2 群のデータバスは、前記第 1 群のデータバスより少なくとも一つのデータバスを引いて備えることを特徴とするディスプレイ装置。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 ラインドライバは、

ソースドライバであることを特徴とする請求項 1 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 3】

前記第 1 及び第 2 ラインドライバは、

直列カスケードに互いに連結されることを特徴とする請求項 1 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 4】

前記第 1 群のデータバスは、

前記第 1 及び第 2 ラインドライバで利用されるデータを伝送することを特徴とする請求項 1 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 5】

前記第 2 群のデータバスは、

前記第 2 ラインドライバで利用されるデータを伝送することを特徴とする請求項 4 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 6】

前記第 2 群のデータバスは、

前記第 1 ラインドライバで利用されるデータを伝送しないことを特徴とする請求項 5 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 7】

前記第 2 群のデータバスは、

前記第 2 ラインドライバに接続される第 3 ラインドライバで利用されるデータを伝送することを特徴とする請求項 6 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 8】

前記第 1 群及び第 2 群のデータバスが備えるそれぞれのデータバスは、

既定の時間区間の間に少なくとも一つの制御信号を伝送することを特徴とする請求項 1 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 9】

前記少なくとも一つの制御信号は、

前記第 1 及び第 2 ラインドライバのラッチ状態、ロード状態及び極性状態のうち少なくとも一つの状態を表すことを特徴とする請求項 8 に記載のディスプレイ装置。

【請求項 10】

タイミングコントローラから第 1 ラインドライバまで第 1 群のデータ信号を伝送するステップと、

前記第 1 ラインドライバから第 2 ラインドライバまで第 2 群の少なくとも一つのデータ信号を伝送するステップを備え、

前記第 2 群のデータ信号の数は、前記第 1 群のデータ信号の数より小さなことを特徴とするディスプレイ装置でデータ信号を伝送する方法。